現場にいたからこそ分かる「本当に困っていること」を何とかしたい！ 生きる意欲が湧いてくるサポートを目指して！

株式会社 T-OHANA（ティーオハナ）　砂川弓美さん

ケアマネージャーとして長年介護や医療の現場仕事に従事してきた経験を活かし、2020 年 11 月に㈱ T-OHANA を設立。藤枝市青木 1 丁目に就労継続支援 B 型の「ポノワークセンター」をオープンした。まだまだ働ける年代で若くして障がいを負ってしまった人たち、そしてその家族の心に寄り添いながら、彼らの再出発を全力で支えている。

起業までのいきさつ

介護支援施設などで 13 年間ケアマネージャーとして働いていました。「介護」というと高齢者のイメージですが、40、50 代の方が脳梗塞などの後遺症で介護保険の対象となるケースも実際多いのです。そんな若い世代が高齢者のデイサービスに行かざるを得ない状況、居場所が見つからず家にこもってしまう実情を目の当たりにしてきました。現場で感じた「本当に困っていること」を何とかしたい、若い世代の人たちが社会復帰し、もう一度生きがいを見つけられるようサポートしたいという強い思いで、就労継続支援 B 型施設「ポノワークセンター」をオープンしました。

起業する上で大変だったこと

2、3 年前から具体的に起業を考え始めました。当時は高齢者に特化したケアマネージャーの資格しか持たず福祉についての知識がなかったので、「社会福祉士」の資格取得をまず考えました。その受験勉強が一番大変でしたが、勉強しながら障害福祉の実情を知ることができ 2020 年 3 月に無事合格できました。また障害福祉サービスを行う事業所として、県の指定を受ける必要がありました。これまで行政に提出する文書など作ったことがなく、事業計画書の作成から県や市に対しての説明などの準備が本当に大変でした。何度も担当者の所へ足を運び、膨大な量の申請書類を一人で作成しました。事業所の場所探しも、駅から近いところを歩き回って探しました。元々は畳屋さんだった建物を内装から何から、お金をかけず自分たちで改修しました。物件を決めてから 3 か月で準備しました。

起業してよかったと感じるとき

スタッフは全員で 6 名。事務 1 名と、その他は全員が介護福祉士、作業療法士、精神保健福祉士などの国家資格を保有しています。かつて一緒に働いた人たちが快く引き受けてくれました。現在通所している人は数名ですが、初めは出来なかったことが出来るようになり喜んでくれる姿、やりがいや居場所をみつけ、生活のリズムが改善し優しく周囲に接することができるように変わっていく姿を見ると嬉しくなります。またそういう姿を見て、ご家族の方もとても喜んでくれています。今後は作業を依頼してくれる取引先を増やし、より多くの人たちの社会復帰を応援していきたいです。そのためにも内職だけでなく、強みとして自社のオリジナル商品の開発などにも挑戦していきます。そしてここを巣立っていった人たちが自立して働きながら、たまに元気な姿を見せに立ち寄ってくれることが事業を行う上での希望です。これまでは最期を看取ることが多い仕事でしたが、今は生きる意欲をサポートできる仕事なのでとてもやりがいを感じています。

これからエフドアを利用する人に

市役所に相談した際にエフドアを紹介されました。苦労した事業計画書も、少しの言葉の言い換えでとても読みやすいものに変わることを知りました。会社登記が済んだ後で、補助制度があることを聞きました。早くに相談に行っていれば、開業準備がもっと楽だったと思います。「やりたいこと」が決まったら相談してみてください。「やるべきこと」が見えてくると思います。

information

株式会社 T-OHANA

所在地：藤枝市青木 1 丁目 11-18
電話番号：054-374-4938